

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	短期目標に合わせたモニタリングとプランの見直し	介護計画が日々の支援の計画に生かされるようにしていく。	職員会議等において話し合いを行い、居室担当者によってより具体的な支援計画ができるようにしていく。	6ヶ月
2	35	2階入居者の避難誘導の難しさ。備蓄4日分では、地域の方々への支援が出来ない。	具体的な避難誘導の実地を行う。地域の方々との協力体制の強化を行う。	訓練時には、スタッフや地域の方々も参加していただき、連携を強めていく。備蓄品に関しては、市の協力も求めていく。	6ヶ月
3	33	「終末期看取り同意書」を示して意向の確認を行っているが、「看取り」の経験はない。	入居者が安心して終末期を迎えられるように「看取り」の勉強会を続けていき、経験していく体制を整えていく。	入居者、御家族、スタッフとの信頼関係を築き、話し合いを重ねていき、結論を出していく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。